

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和2年10月15日（木）10時00分～11時20分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
知見主任安全審査官、横山係長、高木技術参与  
原子力規制部 地震・津波審査部門  
江寄企画調査官、岸野主任安全審査官  
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 5名

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、本年7月22日付けで申請のあった大型廃棄物保管庫架台等の設置に係る申請について、以下のとおり説明があった。
  - 建屋－地盤連成地震応答解析について
  - クレーンの耐震性評価について
- 原子力規制庁は、東京電力に対して、架台の耐震性評価等については別途審査することとし、建屋－地盤連成地震応答解析及びクレーンの耐震性評価について以下の指摘を行った。
  - 大型廃棄物保管庫の動的解析における初期地盤モデルについて、1F-5～6-R/Bの地盤モデルを用いることの方を説明すること。
  - 大型廃棄物保管庫のボーリング調査結果と初期地盤モデルとの整合性について説明すること。
  - 地盤モデルの設定においては、実際の地盤改良工事におけるせん断波速度の変動幅等をどのように配慮しているか、設定の考え方について説明すること。
  - 建屋基礎底面位置の最大応答加速度について、同施設の設計に用いる1.5Gi（水平震度0.3）に包絡されることを説明すること。
  - 解析モデルでの質点番号3における質点重量について、機器側の重量をどのように反映しているか説明すること。
  - クレーン耐震評価において、各部位の評価のみが示されているが、地震荷重の算出及び評価部位への伝達荷重を示した上で、各部の評価を示す計算書構成とすること。

#### 6. その他

資料：大型廃棄物保管庫の揚重設備及び架台設置に係る実施計画の変更について

以上